

4月6日(水)

夜7じより

西成市民館にて

みんなで作ろう

みんなのかいかん!

お盆には1万円もって三角公園へ

ゆうびんふりかえもてきました!

夜間学校

釜ヶ崎夜間学校

西成区菟之野2-5-23

釜ヶ崎解放会館2階

釜日労争議団発行

昨年のアブレ地獄再び!!

現金から飯場主流となる

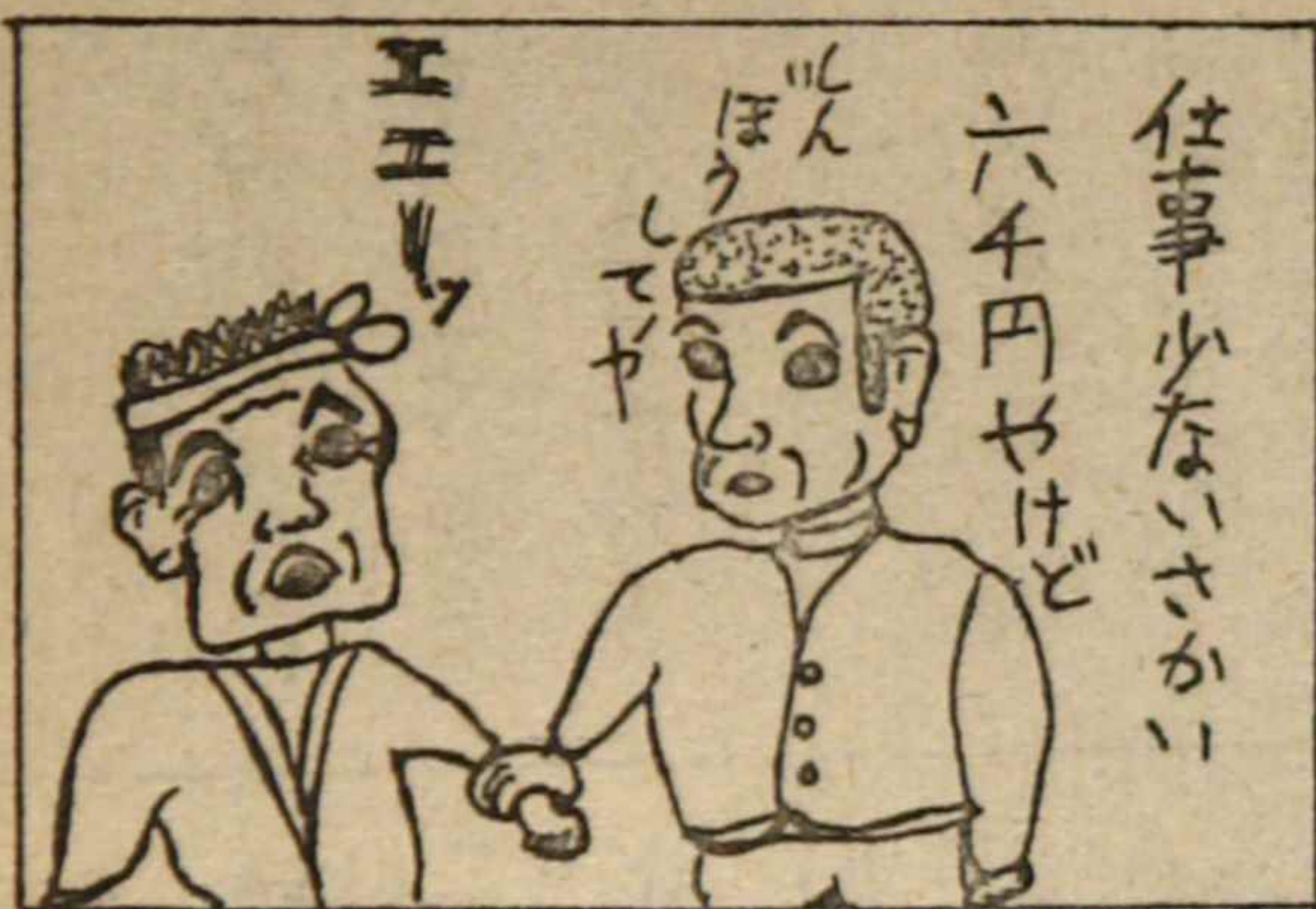
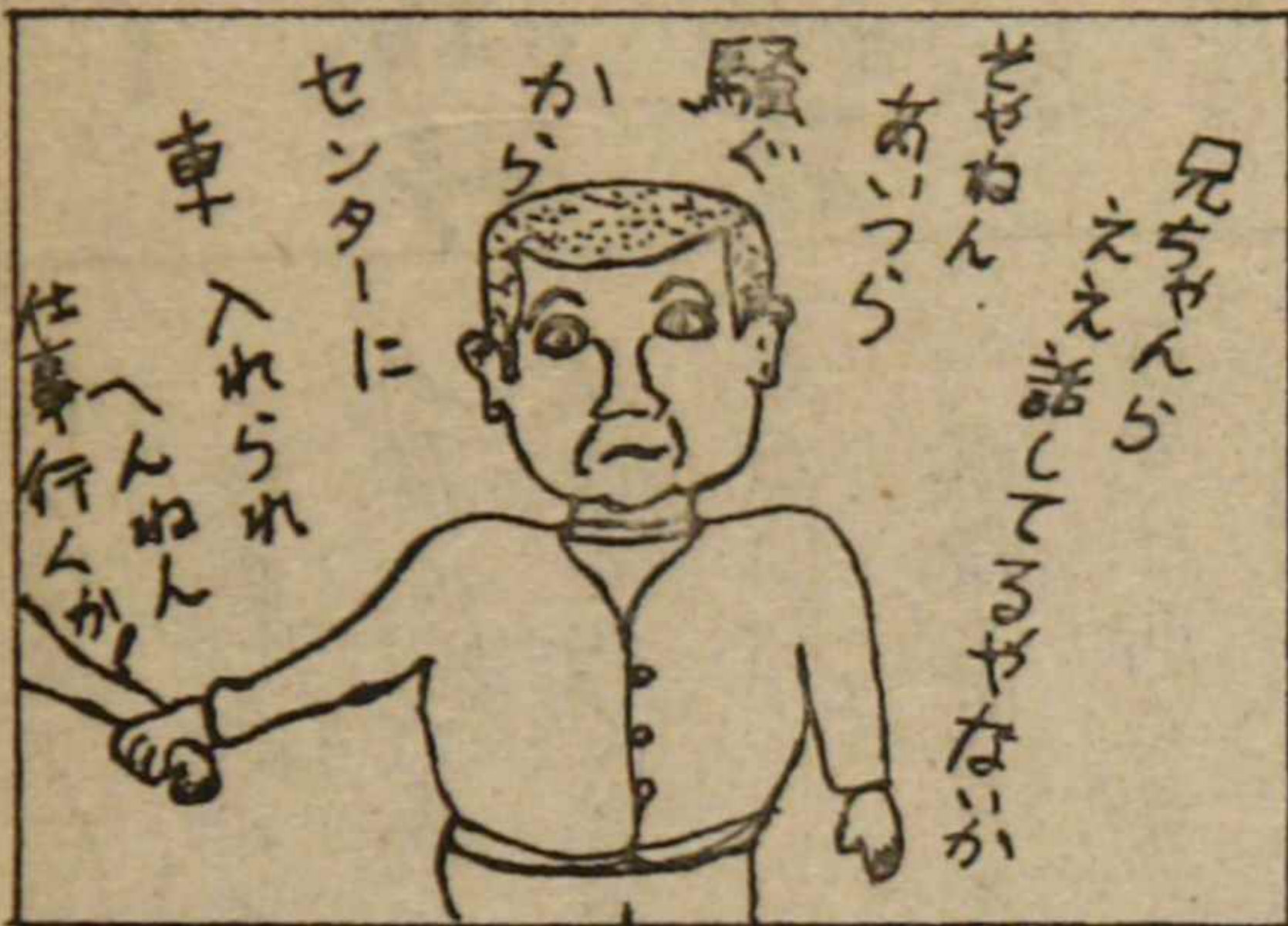
センターで斗えぬば飯場で斗おう

四月に入ってから、センターの現金求人が、そう極端ではないが減りはじめています。三月中、下旬の雨での遅れのせいで今はまだ仕事があるようですが、エ

事の遅れが解消すれば、極端なアブレ地獄になるのではないかと思われます。三月上旬には、みんなの参加で、現金の最任単価を七千円にすることができま

した。
しかし、これから先、現金の求人が減り、好むと好まざるにかかわらず、飯場へ入って仕事を求めなければならぬ事態になるとすれば、今こそ、再びみんなの参加を得て斗争をおこし、飯場の条件を改善しておかなければならないと思えます。

今晚、市民館で、飯場中心の闘いについて、みんなの知恵を出し、計画をねってみよう! 是非参加を!



郵便局をを使っての参加方法

払込通知票		払込票	
大目 2	53643	大目 2	53643
釜ヶ崎日雇労働組合内 会館設立委員会		釜ヶ崎日雇労働組合内 会館設立委員会	
10000		10000	
西成区菟之野2-2-2 日達 釜野 太郎		西成区菟之野2-2-2 日達 釜野 太郎	

★会館・つくりのに協力はしたいけど、一度に一万円はちょっときつい、という人。あるいは盆までまてない、今ゼニのあるうちに渡したい、という人は、郵便局を通して建設資金を送ってください。
近くの郵便局へ行つて、郵便払込の用紙に、左の例のようにならぬと、窓口に出すと、通知票が送られてきて、誰かいくら払込んだか、こちらにわかるようになっていきます。手数料、五円か七円とられます。

越冬斗争の反省からー

かつての

共同生活・軽作業獲得の試み

われらにもっと大きな場を

釜田労働医療班の北ノ間さんの話は、かつて医療センター前のフトンに、自分自身寝たことの体験から始まった。

「私達は毎年のことで、医療センター前のフトン敷きをあたりまえのように思ってしまう時もあるが、自分自身、あそこで寝てみて、あの寒さにはびっくりした、予想以上のものだった。あのフトン敷きで何かをやっている気になっってはならないのであって、もっと、本当にそこで寝る人の身になって、最低でも寒さの防げる場所が考えられなければならぬと思う。」

さらに、病院を自己退院し、

何度も何度も病院の世話をしなければならぬ時の、一時的にせよおこるまなこさ。

「アル中とか、結核で、よく入院するケースがあるんですが、入院した人が、病気が治るまでいる場合は少ない。確かに病院の側に問題の多いことにも、その原因の大半がある、それは事実だが、それ以外にもあると思う。」

別の話のようだが、病弱な人とか、年をとった人で土方仕事ができない人のために、軽作業をみつけて来て、六畳ぐらいの部屋でみんな共同生活をしたこともあるが、このときもうまく

いかなかった。

仕事に行く人と行かない人との間でいさかいがおこる。また続けて行く気が本人達の中でおきない。

病院を自己退院する人も、軽作業に行く気がおきない人も、その原因の一部に、生活のおなごさのようなものがあるような気がする。

それを解決しないかぎり、いつまでたっても同じだと思ふ。仕事に行つて帰った時、あるいは飯場から帰ったとき、喜んでおかえてくれる場と仲間がいれば、多少なりともハリが出るのではないか。

今、生活が個立しているのを、なんとか、おりになく共同化をすすめて、生きることの積極的な意志を強めていかなければならぬと思ふ。

そうした場合として、釜ヶ崎

労働者の家」が建設されることを望まれる。

「このことは、自己退院をくり返す人達だけではなく、今は元気で働いている我々にとつてもいえることではないだろうか。」

友達、ツシがいる。一緒に酒を飲む。ドヤを知っていて行き来する。だが、本当に俺を知る奴がいるか。などと考える時は誰にでもあつたらう。

そんなとき、気軽な場所があり、そこでは初めて合った者もそうでない者も話をしたり、だまって聞いていたりすることができる。

そして、そこに仲間を見出し、元気をとりもどすことができる。

その場で、もっと違った、自分で出来る仕事を作り出し、共に稼ぎ、共に遊ぶ。そして、斗いも、

夢でなく、一人一人が仲間を信じ、カンパをすれば実現する。

まず、あなたがカンパを!